

一般国道 107 号 白石峠
地域連携道路整備事業（ネットワーク形成型）
再評価関係資料

- 1 大規模公共事業 再評価の概要
- 2 大規模公共事業 再評価調書 等

大規模公共事業再評価調書の概要

(一般国道107号 白石峠 地域連携道路整備事業 (ネットワーク形成型))

担当部課：県土整備部 道路建設課

1 事業概要 (路線名等：一般国道107号、所在市町村：大船渡市・住田町)

○事業目的：

一般国道107号は、大船渡市を起点とし秋田県由利本荘市に至る主要な幹線道路であり、沿線地域の住民の生活はもとより、物流や災害、地域間交流等において重要な役割を担っている。

また、重要港湾大船渡港と中枢中核都市の盛岡市や産業集積が進む県南地域を結ぶ物流路線であり、平常時、災害時を問わない安定的な輸送の確保が求められる路線である。

さらに、「岩手県新広域道路交通計画」における一般広域道路及び「岩手県地域防災計画」における緊急輸送道路（第1次路線）に指定されているほか、重要物流道路の代替・補完路や「岩手県広域防災拠点配置計画」における後方支援拠点を有する遠野市や北上市へアクセスする道路に位置付けられている。

東日本大震災津波の際には、「くしの歯作戦」により優先的に道路啓開され、内陸から沿岸への救命・救援ルートとして機能した。

しかしながら、当該区間は急勾配区間が連続し線形不良箇所が多数存在することから速度低下や交通事故等が発生しているほか、白石トンネルの幅員が狭く坑口部が線形不良となっており、大型車同士のすれ違いが困難であるなど安全で円滑な交通の支障となっている。

このことから、本事業により、急勾配、線形不良等の課題を解消し、災害時における緊急輸送道路としての機能強化、物流機能の向上、救急搬送の支援等を図るものである。

○事業内容：計画延長 2,700m、計画幅員 6.5(9.0～9.5)m、トンネル 2,300m、橋梁 1橋

○事業期間：令和4年度～令和14年度（事前評価時：令和13年度）

○総事業費：12,000百万円（事前評価時：9,400百万円）

令和8年度までの投資額：539百万円（進捗率：4.5%）

2 事業の進捗状況

○供用を開始していないため、整備効果の発現はない。

○事業期間の変更はあるものの、大幅な変更ではなく、調査設計が完了していること、県内道路事業の予算配分状況を踏まえた事業費の確保を図っていくことから事業完了の見通しが立っている。

3 社会経済情勢等の状況

○令和3年6月には広域的な道路ネットワークの長期的な構想である「岩手県新広域道路交通計画」を策定し、その中で、一般国道107号は、中枢中核都市や定住自立圏中心市、その他周辺都市など広域交通の拠点となる都市を効率的かつ効果的に連絡する「一般広域道路」に位置付けられている。

○大船渡市、住田町、（仮称）大船渡内陸道路高規格化実現期成同盟会等の関係団体から当該地区の整備について要望がある。

4 コスト縮減対策及び代替案

○トンネル内照明器具の仕様変更により、約10百万円のコスト縮減を図っている。

○事前評価において、代替案を含めた比較検討等を行い、最適なルートを選定しており、現時点で代替案立案の可能性はない。

5 総合評価

- 「事業の進捗状況等」について、事業期間の延伸や総事業費の増額があるものの、調査設計が完了している状況であり、今後も県内道路事業の予算配分状況を踏まえた事業費の確保を図ることで、**令和14年度までに事業が完了**する見込みであること。
- 「社会経済情勢等の変化」については、「事業に関する社会経済情勢」、「評価指標」、「自然環境等の状況」に関して特に大きな変化が見られない。
- 以上のことから「**事業継続**」と評価したものである。

事業名	地域連携道路整備事業 (ネットワーク形成型)	補助	単独	担当部課名	県土整備部 道路建設課
路線名等	一般国道107号	地区名	しいとらげ 白石峠	市町村	大船渡市・住田町
〔事業根拠法令等： 道路法第12条、第50条〕					

事業概要

(1) 事業目的

○路線の位置付け及び目的

- ・一般国道107号は、大船渡市を起点とし秋田県由利本荘市に至る主要な幹線道路であり、沿線地域の住民の生活はもとより、物流や災害、地域間交流等において重要な役割を担っている。
- ・また、重要港湾大船渡港と中枢中核都市の盛岡市や産業集積が進む県南地域を結ぶ物流路線であり、平常時、災害時を問わない安定的な輸送の確保が求められる路線である。
- ・さらに、「岩手県新広域道路交通計画」における一般広域道路及び「岩手県地域防災計画」における緊急輸送道路（第1次路線）に指定されているほか、重要物流道路の代替・補完路や「岩手県広域防災拠点配置計画」における後方支援拠点を有する遠野市や北上市へアクセスする道路に位置づけられている。
- ・東日本大震災津波の際には、「くしの歯作戦」により優先的に道路啓開され、内陸から沿岸への救命・救援ルートとして機能した。
- ・しかしながら、当該区間は、急勾配区間が連続し、線形不良箇所が多数存在することから速度低下や交通事故等が発生しているほか、白石トンネルの幅員が狭く、坑口部が線形不良となっており、大型車同士のすれ違いが困難であるなど、安全で円滑な交通の支障となっている。

○整備によって得られる効果

- ・本事業により、急勾配、線形不良等の課題を解消し、緊急輸送道路としての機能強化、物流機能の向上、救急搬送の支援等に資するものである。

(2) 事業内容

- ・計画延長：L=2,700m（うちトンネルL=2,300m）
- ・計画幅員：【一般部】 W=6.5（9.0～9.5）m
【トンネル部】 W=6.5（8.0）m
- ・主要構造物：トンネル2,300m、橋梁1橋

(3) 整備目標等

- ・急勾配、線形不良区間等の解消：現道延長約3.5m

事業着手	R4年度	事業計画期間 R4 ～ R13 <small>（今回再評価時全体計画期間） （当初全体計画期間）</small>	用地着手	R8年度	工事着手	未着手	
事業費	当初計画 総事業費 R4年 <small>（うち用地費）</small>	今回再評価時 総事業費 R8年 <small>（うち用地費）</small>	事業費の状況 〔百万円〕				進捗率 F = E/A
			R4年～ R6年	R7年	R8年	投資事業費 E = B+C+D	
	9,400.0 (89.0)	12,000.0 (89.0)	B 229.0 (0.0)	C 105.0 (0.0)	D 205.0 (34.0)	E 539.0 (34.0)	

事業の進捗状況等

(1) 事業の進捗状況

ア 整備効果の発現状況

- ・ 供用を開始していないため、整備効果の発現はない。

イ 未着工及び工事遅延等の理由並びに解決の見通し

①理由
地質調査等を踏まえたトンネル詳細設計の結果、トンネル支保工の変更やトンネル掘削の補助工法、インバート工の増等により、総事業費の増額及び事業期間の延伸が必要となったもの。

②解決の見通し
事業期間の変更はあるものの、調査設計が完了していること、県内道路事業の予算配分状況を踏まえた事業費の確保を図っていくことから事業完了の見通しが立っている。

○中項目評価は、事業期間の変更はあるものの一定の期間を延伸することで事業の完了が見込まれることから「b」とした。

中項目評価 a . (b) . c

事業の進捗状況等

(2) 事業計画の変更の有無及び内容

①変更内容

【事業期間】（変更前）令和13年度まで ⇒ （変更後）令和14年度まで〔1年延伸〕

【事業費】（変更前）9,400百万円 ⇒ （変更後）12,000百万円〔2,600百万円増額〕

- ・トンネル支保工変更による増額：510百万円
- ・物価上昇による増額：2,100百万円
- ・トンネル照明の仕様変更による減：10百万円

項目	変更前(R3)	変更後(R8)	増減	備考
工事費	8,911	11,469	2,558	トンネルの支保工の変更等による増額：510 物価上昇による増：2,058 照明器具の仕様変更による減：10
測量試験費	400	442	42	物価上昇による増：42
用地補償費	89	89	0	
合計	9,400	12,000	2,600	

○中項目評価は、事業計画の変更はあるものの施工区間や主要な工事内容の変更ではなく、大幅な変更ではないため「b」とした。

中項目評価 a . (b) . c

○中項目評価が「b」、 「b」であることから、大項目評価を「BB」とした。

評 価 AA . A . (BB) . B . C

(1) 事業に関する社会経済情勢

ア 全国の状況

- ・ 国の主要施策の基本方針として、「防災・減災、国土強靱化」「予防保全型メンテナンスへの本格転換」「人流・物流を支えるネットワーク・拠点の整備」「GXの推進による脱炭素社会の実現」「道路システムのDX」「道路空間の安全・安心や賑わいの創出」を定め、道路施策に取り組むこととしている。

イ 本県内の状況

- ・ 「いわて県民計画（2019～2028）において、社会基盤分野として『防災対策や産業振興など幸福の追求を支える仕組みが整っている岩手』を政策推進の基本的な考え方としている。
- ・ この中で道路分野では、災害に強い道路ネットワークを構築するため、幹線道路の整備や緊急輸送道路等の防災機能の強化及び日常生活を支える安全・安心な道づくりのため、救急搬送ルート of 整備や地域の実情に応じた道路整備、物流の効率化など生産性の向上を図るため、内陸部と港湾を結ぶ道路や工業団地、インターチェンジへのアクセス道路の整備を推進することとしている。
- ・ また、令和3年6月には広域的な道路ネットワークの長期的な構想である「岩手県新広域道路交通計画」を策定し、その中で、一般国道107号は、中枢中核都市や定住自立圏中心城市、その他周辺都市など広域交通の拠点となる都市を効率的かつ効果的に連絡する「一般広域道路」に位置付けられている。

ウ 施工地域における状況

- ・ 大船渡市、住田町、(仮称)大船渡内陸道路高規格化実現期成同盟会等の関係団体から当該地区の整備について要望がある。

○中項目評価は、全国又は本県において、政策や事業のあり方についての議論や見直しの検討は無いことから「a」とした。

中項目評価 a . b . c

(2) 事業に関する評価指標の推移

評価指標		配点	事前評価時 評点(A) (R3)	今回再評価時 評点(B) (R8)	増減 (B)-(A)	備考 (配点基準等)
必要性	車道等幅員	5	5 現況幅員<規定値-2m	5 現況幅員<規定値-2m	0	現況最小幅員6.5m <既定値9.5m-2m=7.5m>
	曲線半径	5	3 現況半径<規定値	3 現況半径<規定値	0	現況最小曲線半径100m <既定値150m>
	縦断勾配	5	5 現況勾配<規定値-10km/h特例値	5 現況勾配<規定値-10km/h特例値	0	現況最急勾配8.4% <規定値-10.0km/h特例値7%>
	歩道設置の必要性	3	0 該当なし	0 該当なし	0	
	混雑度	2	0 (現況混雑度<1.0)	0 (現況混雑度<1.0)	0	事前評価時：0.85 再評価時：0.48
	定時性	2	2 10.0km/h以上	2 10.0km/h以上	0	冬期速度と秋季速度の差 事前評価時：10.0km/h 再評価時：11.0km/h
	事故率	3	1 履歴あり	1 履歴あり	0	
	過疎地域等の振興	5	5 過疎・山村該当	5 過疎・山村該当	0	
	計	30	21	21	0	
重要性	ネットワークの位置付け	15	15 代替・補完路	15 一般広域道路	0	R3.6月に「岩手県新広域道路交通計画」が策定
	産業振興、生活支援	15	15 4項目以上該当	15 4項目以上該当	0	物流支援、観光支援、救急医療アクセス、峠道などの冬期安全確保
	計	30	30	30	0	
緊急性	関連事業の有無	5	0 なし	0 なし	0	
	冠水対策、主要渋滞ポイント、老朽橋、通行不能区間、通行危険箇所等	5	0 なし	0 なし	0	
	部分供用の有無	-	-	-	0	評価対象外
	10Km以内に迂回道路	5	5 なし	5 なし	0	
	計	15	5	5	0	
効率性	費用便益比(B/C)	20	15 B/C：1.2	15 B/C：1.2	0	1.0≤B/C<1.5：15点
熟度	用地取得の進捗状況	3	0 0%	0 0%	0	用地進捗率0%
	地元要望	2	2 あり	2 あり	0	
	計	5	2	2	0	
計		100	73	73	0	(今回再評価時/前回再評価時) 100%

社会
経済
情勢
等
の
変
化

○ 費用便益分析

費用便益分析手法：道路建設課所管道路事業費用便益分析の手引き[令和8年4月]

(単位：百万円)

区 分		事前評価時 基準年：R3	再評価時 基準年：R8
費用項目	改築費	6,526.0	9,473.0
	維持費	101.0	169.0
	総費用(C)	6,627.0	9,642.0
便益項目	基本3便益 ①	時間短縮便益	7,159.0
		走行経費減少便益	588.0
		事故減少便益	45.0
		基本3便益	7,791.0
	その他便益 ②	環境改善便益	-319.0
		拡張便益	2,007.0
		その他便益	1,689.0
	小計(①+②)	9,480.0	
	修正便益 ③	6,016.0	
	総便益 ①+②+③	15,496.0	
費用便益比(基本3便益) B(①)/C		1.2	1.2
費用便益比(基本3便益+その他便益)B(①+②)/C		1.4	1.8
(参考)修正費用便益比 B(①+②+③)/C		2.3	3.4

将来交通量 6,353台/日(R14) 5,768台/日(R22)

- ・端数の四捨五入の関係で、各数値の和が一致しない場合がある。
- ・参考として、地域補正係数による修正便益を考慮したB/Cを算出している。

○ 関連する開発プロジェクト等の状況

なし

○中項目評価は、各評価指標の評点の合計が事業着手時の90%以上であることから「a」とした。

中項目評価 (a) . b . c

(3) 自然環境等の状況及び環境配慮事項

ア 動植物、地形・地質、歴史文化、景観等の状況及び岩手県自然環境保全指針による保全区分

・岩手県自然環境保全指針による保全区分

A、B、D

・希少野生動植物生息の有無

あり

・埋蔵文化財包蔵地の有無

なし

イ 環境配慮事項及び環境等への配慮に要する事業費

広域振興局の公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会への付議状況 付議している

① 主な助言内容

令和4年度に実施した希少野生動植物調査検討委員会で現地調査の実施について助言をいただいたことから、令和5年度に調査を実施した。
猛禽類等については、工事着手前に再度調査するよう助言があったことから、令和8年度に再度調査予定としている。

《環境等への配慮に要する経費》

- ・再生AS合材や再生砕石を使用 (2,300千円)
- ・切土・盛土の植生緑化 (4,800千円)
- ・環境調査の実施 (44,567千円)

○中項目評価は、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全区分毎の保全区分に沿って積極的な対応をしていることから「a」とした。

中項目評価 (a) . b . c

○中項目評価が「a」、「a」、「a」であることから、大項目評価を「AA」とした。

評価 (AA) . A . B . C

社会
経済
情勢
等
の
変
化

コスト削減対策及び代替案立案の可能性

(1) コスト削減対策の実施状況及び今後の可能性
トンネル内照明器具の仕様変更(ステンレス製→アルミ製)によるコスト削減(削減額：約10,000千円)

(2) 代替案立案の可能性
事前評価において、代替案を含めた比較検討を行い、最適なルートを選定しており、現時点で代替案立案の可能性はない。

(1) 総合評価

対応方針案	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px;">事業継続</div> ・ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">要検討</div> ・ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">中止</div> </div> <p style="font-size: small; margin-top: 5px;">(事業継続、見直し継続、休止、中止)</p>
-------	--

(事業名)地域連携道路整備事業(ネットワーク形成型) 白石峠

着手年度	完了予定年度	全体事業費	投資済事業費	進捗率	(1)事業進捗状況			(2)社会経済情勢			参考		
					進捗状況	計画変更		社会経済	評価指標	自然環境	評点	B/C	
R4	R14	12,000百万円	539百万円	4.5%	BB	b	b	AA	a	a	a	73	1.2

(修正B/C=3.4)

○総合評価に係るコメント

- ・ 「事業の進捗状況等」については、事業期間の延伸や総事業費の増額があるものの、調査設計が完了している状況であり、今後も県内道路事業の予算配分状況を踏まえた事業費の確保を図ることで、令和14年度までに事業が完了する見込みである。
- ・ 「社会経済情勢等の変化」については、「事業に関する社会経済情勢」、「評価指標」、「自然環境等の状況」に関して特に大きな変化が見られない。
- ・ 以上のことから、「事業継続」と評価したものである。

総合評価

※評価対象事業の位置図、計画平面図、標準横断図等を添付のこと。

事業名	地域連携道路整備事業 (ネットワーク形成型)	補助・単独	担当部課名	道路建設課																																																											
路線名等	一般国道107号	地区名	いしづけ 白石峠	市町村	大船渡市・住田町																																																										
<p>1 現在までの事業の経緯等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ R 3年度 国庫補助事業による事業採択 ・ R 4年度 路線測量 ・ R 5年度 トンネル詳細設計、地質調査、道路環境調査 ・ R 6年度 道路詳細設計、橋梁詳細設計 ・ R 7年度 用地測量 <p>2 住民意見の状況及びこれに対する対応</p> <p>本工区については、大船渡市、住田町及び一般国道107号(大船渡・遠野間) 整備促進並びに(仮称)大船渡内陸道路高規格化実現期成同盟会から当該工区の整備について要望がある。</p> <p>3 費用便益分析の詳細(算定方法、算出根拠等)</p> <p>費用便益分析手法：道路建設課所管道路事業費用便益分析の手引き[令和8年4月]</p> <p style="text-align: right;">(単位：百万円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">区 分</th> <th>事前評価時 基準年：R3</th> <th>再評価時 基準年：R8</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">費用項目</td> <td>改築費</td> <td>6,526.0</td> <td>9,473.0</td> </tr> <tr> <td>維持費</td> <td>101.0</td> <td>169.0</td> </tr> <tr> <td>総費用(C)</td> <td>6,627.0</td> <td>9,642.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">便益項目</td> <td rowspan="3">基本3便益 ①</td> <td>時間短縮便益</td> <td>7,159.0</td> <td>10,239.0</td> </tr> <tr> <td>走行経費減少便益</td> <td>588.0</td> <td>1,222.0</td> </tr> <tr> <td>事故減少便益</td> <td>45.0</td> <td>200.0</td> </tr> <tr> <td>基本3便益 ①</td> <td>7,791.0</td> <td>11,661.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">その他便益 ②</td> <td>環境改善便益</td> <td>-319.0</td> <td>29.3</td> </tr> <tr> <td>拡張便益</td> <td>2,007.0</td> <td>6,125.3</td> </tr> <tr> <td>その他便益 ②</td> <td>1,689.0</td> <td>6,154.6</td> </tr> <tr> <td>小計(①+②)</td> <td>9,480.0</td> <td>17,815.6</td> </tr> <tr> <td>修正便益 ③</td> <td>6,016.0</td> <td>14,991.3</td> </tr> <tr> <td>総便益 ①+②+③</td> <td>15,496.0</td> <td>32,806.9</td> </tr> <tr> <td>費用便益比(基本3便益)</td> <td>B(①)/C</td> <td>1.2</td> <td>1.2</td> </tr> <tr> <td>費用便益比(基本3便益+その他便益)</td> <td>B(①+②)/C</td> <td>1.4</td> <td>1.8</td> </tr> <tr> <td>(参考)修正費用便益比</td> <td>B(①+②+③)/C</td> <td>2.3</td> <td>3.4</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">将来交通量 6,353台/日 (R14) 5,768台/日 (R22)</p> <p>①改築費：道路建設に要する費用を基準年において現在価値化したもの。 ②維持費：道路の供用開始後50年間における維持管理費を基準年において現在価値化したもの。 ③時間短縮便益：道路の供用開始後50年間における自動車に乗車していなければ、生産活動を行うことによって産み出されるであろう価値(資源価値)、または自動車に乗車している時間を他の目的に使用できるなら支払ってもよいと思う金額(行動価値)を、基準年において現在価値化したもの。 ④走行経費減少便益：道路の供用開始後50年間における燃料費、オイル費、タイヤ・チューブ費等の減少効果を、基準年において現在価値化したもの。 ⑤事故減少便益：道路の供用開始後50年間における人身事故、物損事故、救急や事故処理などに伴う公的損害、及び事故により発生する交通渋滞による損失の減少効果を、基準年において現在価値化したもの。 ⑥環境改善便益：道路の供用開始後50年間における地球温暖化への道路整備による環境改善効果を、基準年において現在価値化したもの。 ⑦拡張便益：道路の供用開始後50年間における道路走行時の安全性、救急医療施設等へのアクセシビリティ向上による緊急時の安心感などの効果を、基準年において現在価値化したもの。 ⑧修正便益：所得水準や物価基準といった地域間格差を考慮し、東京を基準(1.0)とした各地域別の地域修正係数を乗じたもの。</p> <p>4 環境対策の具体的内容</p> <p>広域振興局の公共事業に係る希少野生動植物調査検討委員会からの助言を踏まえ、令和5年度に調査を実施。猛禽類等については、工事着手前に再度調査するよう助言があったことから、令和8年度に再度環境調査を実施予定。工事の実施に当たっては、調査結果や専門家の意見を踏まえ、適切な対策等を講じる予定としている。</p>					区 分		事前評価時 基準年：R3	再評価時 基準年：R8	費用項目	改築費	6,526.0	9,473.0	維持費	101.0	169.0	総費用(C)	6,627.0	9,642.0	便益項目	基本3便益 ①	時間短縮便益	7,159.0	10,239.0	走行経費減少便益	588.0	1,222.0	事故減少便益	45.0	200.0	基本3便益 ①	7,791.0	11,661.0	その他便益 ②	環境改善便益	-319.0	29.3	拡張便益	2,007.0	6,125.3	その他便益 ②	1,689.0	6,154.6	小計(①+②)	9,480.0	17,815.6	修正便益 ③	6,016.0	14,991.3	総便益 ①+②+③	15,496.0	32,806.9	費用便益比(基本3便益)	B(①)/C	1.2	1.2	費用便益比(基本3便益+その他便益)	B(①+②)/C	1.4	1.8	(参考)修正費用便益比	B(①+②+③)/C	2.3	3.4
区 分		事前評価時 基準年：R3	再評価時 基準年：R8																																																												
費用項目	改築費	6,526.0	9,473.0																																																												
	維持費	101.0	169.0																																																												
	総費用(C)	6,627.0	9,642.0																																																												
便益項目	基本3便益 ①	時間短縮便益	7,159.0	10,239.0																																																											
		走行経費減少便益	588.0	1,222.0																																																											
		事故減少便益	45.0	200.0																																																											
	基本3便益 ①	7,791.0	11,661.0																																																												
	その他便益 ②	環境改善便益	-319.0	29.3																																																											
		拡張便益	2,007.0	6,125.3																																																											
	その他便益 ②	1,689.0	6,154.6																																																												
	小計(①+②)	9,480.0	17,815.6																																																												
	修正便益 ③	6,016.0	14,991.3																																																												
	総便益 ①+②+③	15,496.0	32,806.9																																																												
費用便益比(基本3便益)	B(①)/C	1.2	1.2																																																												
費用便益比(基本3便益+その他便益)	B(①+②)/C	1.4	1.8																																																												
(参考)修正費用便益比	B(①+②+③)/C	2.3	3.4																																																												

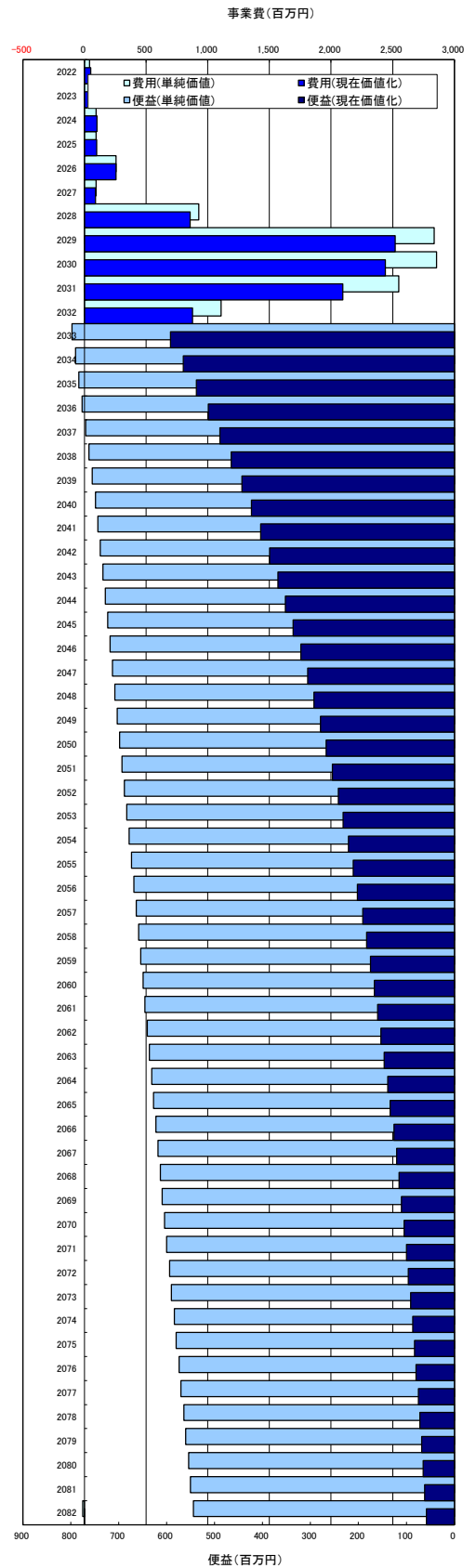
費用対効果計算書
 全体
 路線名:107号

48

地区名:白石峠

単位:百万円

算用年次との 年次	現在価値 割引率	GDP デフレーター	費用				便益		
			建設費		維持管理費		便益額	現在価値	
			費用	現在価値	費用	現在価値			
-11	2022	1.16988	101.3	41	51.8	0	0	0.0	0.0
-10	2023	1.12486	106.1	72	83.6	0	0	0.0	0.0
-9	2024	1.08160	109.5	95	102.8	0	0	0.0	0.0
-8	2025	1.04000	109.5	95	98.8	0	0	0.0	0.0
-7	2026	1.00000	109.5	256	256.0	0	0	0.0	0.0
-6	2027	0.96154	109.5	95	91.3	0	0	0.0	0.0
-5	2028	0.92456	109.5	927	857.1	0	0	0.0	0.0
-4	2029	0.88900	109.5	2,836	2,521.2	0	0	0.0	0.0
-3	2030	0.85480	109.5	2,855	2,440.5	0	0	0.0	0.0
-2	2031	0.82193	109.5	2,550	2,095.9	0	0	0.0	0.0
-1	2032	0.79031	109.5	1,109	876.5	0	0	0.0	0.0
0	2033	0.75992	109.5	0	0.0	10	8	797	592
1	2034	0.73069	109.5	0	0.0	10	7	790	565
2	2035	0.70259	109.5	0	0.0	10	7	783	538
3	2036	0.67556	109.5	0	0.0	10	7	776	513
4	2037	0.64958	109.5	0	0.0	10	7	769	489
5	2038	0.62460	109.5	0	0.0	10	6	762	465
6	2039	0.60057	109.5	0	0.0	10	6	755	443
7	2040	0.57748	109.5	0	0.0	10	6	748	423
8	2041	0.55526	109.5	0	0.0	10	6	743	404
9	2042	0.53391	109.5	0	0.0	10	5	738	385
10	2043	0.51337	109.5	0	0.0	10	5	733	368
11	2044	0.49363	109.5	0	0.0	10	5	728	352
12	2045	0.47464	109.5	0	0.0	10	5	723	336
13	2046	0.45639	109.5	0	0.0	10	5	718	320
14	2047	0.43883	109.5	0	0.0	10	4	713	306
15	2048	0.42196	109.5	0	0.0	10	4	708	293
16	2049	0.40573	109.5	0	0.0	10	4	703	279
17	2050	0.39012	109.5	0	0.0	10	4	698	267
18	2051	0.37512	109.5	0	0.0	10	4	693	254
19	2052	0.36069	109.5	0	0.0	10	4	688	242
20	2053	0.34682	109.5	0	0.0	10	3	683	232
21	2054	0.33348	109.5	0	0.0	10	3	678	221
22	2055	0.32065	109.5	0	0.0	10	3	673	211
23	2056	0.30832	109.5	0	0.0	10	3	668	202
24	2057	0.29646	109.5	0	0.0	10	3	663	191
25	2058	0.28506	109.5	0	0.0	10	3	658	183
26	2059	0.27409	109.5	0	0.0	10	3	654	175
27	2060	0.26355	109.5	0	0.0	10	3	649	167
28	2061	0.25342	109.5	0	0.0	10	3	645	160
29	2062	0.24367	109.5	0	0.0	10	2	640	153
30	2063	0.23430	109.5	0	0.0	10	2	636	146
31	2064	0.22529	109.5	0	0.0	10	2	631	139
32	2065	0.21662	109.5	0	0.0	10	2	627	134
33	2066	0.20829	109.5	0	0.0	10	2	622	126
34	2067	0.20028	109.5	0	0.0	10	2	618	120
35	2068	0.19257	109.5	0	0.0	10	2	613	115
36	2069	0.18517	109.5	0	0.0	10	2	609	110
37	2070	0.17805	109.5	0	0.0	10	2	604	105
38	2071	0.17120	109.5	0	0.0	10	2	600	100
39	2072	0.16461	109.5	0	0.0	10	2	594	96
40	2073	0.15828	109.5	0	0.0	10	2	590	91
41	2074	0.15219	109.5	0	0.0	10	2	584	87
42	2075	0.14634	109.5	0	0.0	10	1	580	83
43	2076	0.14071	109.5	0	0.0	10	1	574	80
44	2077	0.13530	109.5	0	0.0	10	1	570	75
45	2078	0.13010	109.5	0	0.0	10	1	564	72
46	2079	0.12509	109.5	0	0.0	10	1	560	68
47	2080	0.12028	109.5	0	0.0	10	1	554	65
48	2081	0.11566	109.5	0	0	10	1	550	62
49	2082	0.11121	109.5	-14	-1.6	10	1	544	58
				10,917	9,474	503	170	33,201	11,661



便益B 11,661 百万円

総事業費C 9,644 百万円

B/C= 1.2

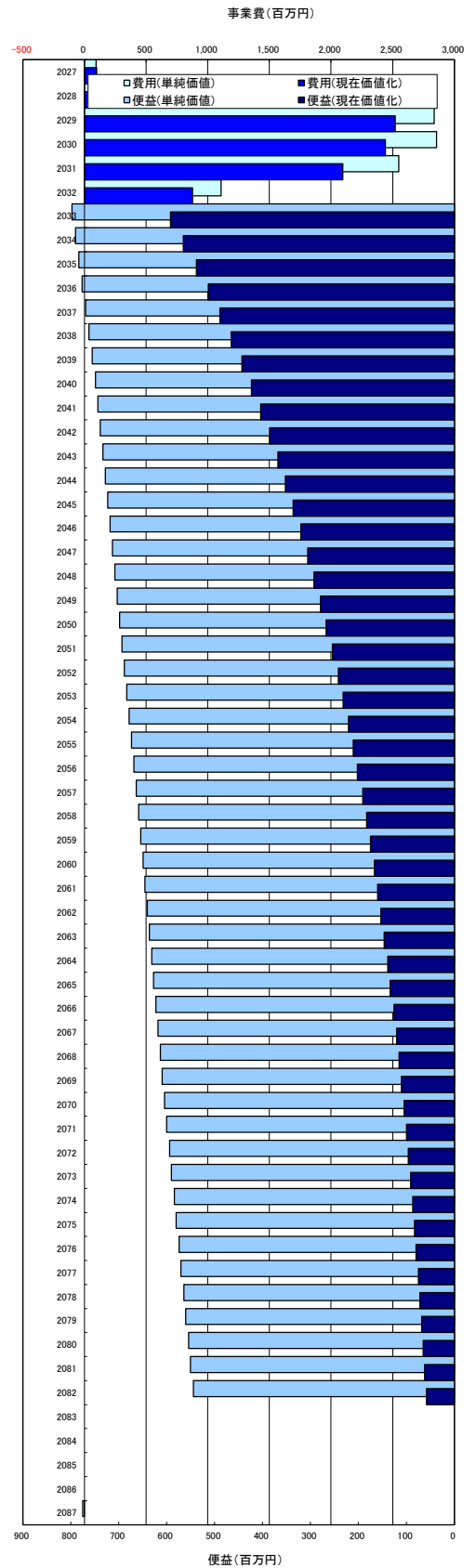
費用対効果計算書
 残事業
 路線名:107号

48

地区名:白石峠

単位:百万円

算用年次との 差	年次	現在価値 割引率	GDP デフレーター	費用				便益	
				建設費		維持管理費		便益額	現在価値
				費用	現在価値	費用	現在価値		
-6	2027	0.96154	101.3	95	98.7	0	0	0.0	0.0
-5	2028	0.92456	106.1	927	884.5	0	0	0.0	0.0
-4	2029	0.88900	109.5	2,836	2,521.2	0	0	0.0	0.0
-3	2030	0.85480	109.5	2,855	2,440.5	0	0	0.0	0.0
-2	2031	0.82193	109.5	2,550	2,095.9	0	0	0.0	0.0
-1	2032	0.79031	109.5	1,109	876.5	0	0	0.0	0.0
0	2033	0.75992	109.5	0	0.0	10	8	797	592
1	2034	0.73069	109.5	0	0.0	10	7	790	565
2	2035	0.70259	109.5	0	0.0	10	7	783	538
3	2036	0.67556	109.5	0	0.0	10	7	776	513
4	2037	0.64958	109.5	0	0.0	10	7	769	489
5	2038	0.62460	109.5	0	0.0	10	6	762	465
6	2039	0.60057	109.5	0	0.0	10	6	755	443
7	2040	0.57748	109.5	0	0.0	10	6	748	423
8	2041	0.55526	109.5	0	0.0	10	6	743	404
9	2042	0.53391	109.5	0	0.0	10	5	738	385
10	2043	0.51337	109.5	0	0.0	10	5	733	368
11	2044	0.49363	109.5	0	0.0	10	5	728	352
12	2045	0.47464	109.5	0	0.0	10	5	723	336
13	2046	0.45639	109.5	0	0.0	10	5	718	320
14	2047	0.43883	109.5	0	0.0	10	4	713	306
15	2048	0.42196	109.5	0	0.0	10	4	708	293
16	2049	0.40573	109.5	0	0.0	10	4	703	279
17	2050	0.39012	109.5	0	0.0	10	4	698	267
18	2051	0.37512	109.5	0	0.0	10	4	693	254
19	2052	0.36069	109.5	0	0.0	10	4	688	242
20	2053	0.34682	109.5	0	0.0	10	3	683	232
21	2054	0.33348	109.5	0	0.0	10	3	678	221
22	2055	0.32065	109.5	0	0.0	10	3	673	211
23	2056	0.30832	109.5	0	0.0	10	3	668	202
24	2057	0.29646	109.5	0	0.0	10	3	663	191
25	2058	0.28506	109.5	0	0.0	10	3	658	183
26	2059	0.27409	109.5	0	0.0	10	3	654	175
27	2060	0.26355	109.5	0	0.0	10	3	649	167
28	2061	0.25342	109.5	0	0.0	10	3	645	160
29	2062	0.24367	109.5	0	0.0	10	2	640	153
30	2063	0.23430	109.5	0	0.0	10	2	636	146
31	2064	0.22529	109.5	0	0.0	10	2	631	139
32	2065	0.21662	109.5	0	0.0	10	2	627	134
33	2066	0.20829	109.5	0	0.0	10	2	622	126
34	2067	0.20028	109.5	0	0.0	10	2	618	120
35	2068	0.19257	109.5	0	0.0	10	2	613	115
36	2069	0.18517	109.5	0	0.0	10	2	609	110
37	2070	0.17805	109.5	0	0.0	10	2	604	105
38	2071	0.17120	109.5	0	0.0	10	2	600	100
39	2072	0.16461	109.5	0	0.0	10	2	594	96
40	2073	0.15828	109.5	0	0.0	10	2	590	91
41	2074	0.15219	109.5	0	0.0	10	2	584	87
42	2075	0.14634	109.5	0	0.0	10	1	580	83
43	2076	0.14071	109.5	0	0.0	10	1	574	80
44	2077	0.13530	109.5	0	0.0	10	1	570	75
45	2078	0.13010	109.5	0	0.0	10	1	564	72
46	2079	0.12509	109.5	0	0.0	10	1	560	68
47	2080	0.12028	109.5	0	0.0	10	1	554	65
48	2081	0.11566	109.5	0	0.0	10	1	550	62
49	2082	0.11121	109.5	0	0.0	10	1	544	58
50	2083		109.5	0	0.0	0	0	0	0
51	2084		109.5	0	0.0	0	0	0	0
52	2085		109.5	0	0.0	0	0	0	0
53	2086		109.5	0	0	0	0	0	0
54	2087		109.5	-14	0.0	0	0	0	0
				10,358	8,917	503	169	33,201	11,661



便益B 11,661 百万円

総事業費C 9,087 百万円

B/C= 1.3

地域連携道路整備事業(ネットワーク形成型) (国)107号 白石峠 実施状況図

